

インフルエンザの季節がやってきた~!!

厚生労働省は11月25日にインフルエンザが全国的な流行シーズンに入ったと発表しました。

さらに今年は、RSウイルス感染症やA群溶血性レンサ球菌咽頭炎も流行しています!!マイコプラズマ肺炎にもご注意を…。

◎RSウイルス感染症とは

RSウイルスを原因とする「かぜ」に似た症状の感染症で、秋から冬にかけて流行します。2歳までにはほとんどの乳幼児が感染するといわれていますが、時に重症化することがあります。

◎A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群レンサ球菌による上気道の感染症です。典型的な症状は、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れます。

◎マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマという微生物が原因の感染症です。乾いたせきと発熱が特徴で、解熱後も数週間にわたってせきが続きます。また、オリンピック開催年に大流行するため、「オリンピック肺炎」と呼ばれています。リオ五輪があった今年もすでに流行しています。

◎予防のポイント

これらの感染症は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる菌を吸い込むことや、菌が付着した手で口や鼻に触れることによりうつります。手洗いやうがいの徹底、咳エチケットを心がけましょう。



東京都福祉保健局インフルエンザ予防啓発ポスター

検査科では、上記診断の他に、感染性胃腸炎関連ウイルス、咽頭結膜炎のアデノウイルス、肺炎の原因菌のレジオネラ属菌、肺炎球菌などの迅速診断検査を24時間体制で行っています。

♪ お問い合わせ 検査科 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

带状疱疹について

带状疱疹とは？

- 身体のどちらか一方に、ピリピリとした痛みと、これに続いて赤い斑点と水ぶくれが帯状にでる病気です。
- 身体の中に潜んでいた水痘・带状疱疹ウイルスによっておこります。水ぼうそうにかかった事のある人なら、誰でも带状疱疹になる可能性があります。

合併症や後遺症は？

- 発熱や頭痛がみられる事があります。また顔面の带状疱疹では、角膜炎や結膜炎などを起こす事があります。まれに耳鳴りや難聴、顔面神経麻痺などが生じるハント症候群になることがあります。
- 通常、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、その後もピリピリするような痛みが残る事があります（＝带状疱疹後神経痛）。

带状疱疹の症状があったら、かかりつけ医を受診の上、できる限り早めに皮膚科専門医を紹介してもらってください。

どうしてなるの？ 人にうつるの？

- はじめて水痘・带状疱疹ウイルスに感染したときは、水ぼうそうとして発症します。
- 水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内の神経節に潜んでいます（＝潜伏感染）。
- 加齢やストレス、過労などが引き金となってウイルスに対する免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動を始め、神経を伝わって皮膚に到達し、带状疱疹として発症します。
- 带状疱疹は、他の人に带状疱疹としてうつる事はありません。ただし、水ぼうそうにかかった事のない乳幼児などに、水ぼうそうとしてうつる場合があります。

治療法は？

- 抗ヘルペスウイルス薬の点滴や内服を行います。皮膚の症状や痛みなどを和らげ、治るまでの期間を短縮します。更に合併症や後遺症を抑える事も期待されます。発症早期に治療を開始するほど、効果が期待できます。

